

企業短期経済観測調査（道北※地域分）
（調査対象企業数：道北※40社）

※上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内
回答社数構成比 %ポイント

（判断D、I。） 計表中の2025年12月以降の計数は、2026/3月調査対象企業見直し後の新ベース。 （ ）内は前回調査時予測

	2025/6月	9月	12月	2026/3月	6月	9月	2026/12月 までの予測
業 況 判 断						(3)	
< 良 い - 悪 い >	15	13	10	5	5	10	3
うち製造業	12	12	0	-12	0	(25) 0	0
非製造業	17	14	12	9	6	(-4) 12	4
国 内 で の 製 商 品 ・ サ ー ビ ス 需 給						(-15)	
< 需 要 超 過 - 供 給 超 過 >	-3	-2	-8	-13	-16	-8	-13
製 商 品 在 庫 水 準							
< 過 大 - 不 足 >	7	0	-4	0	-4	0	
生 産 ・ 営 業 用 設 備						(-11)	
< 過 剰 - 不 足 >	-8	-8	-10	-10	-8	-11	-11
雇 用 人 員						(-53)	
< 過 剰 - 不 足 >	-47	-51	-59	-46	-45	-43	-48
資 金 繰 り							
< 楽 で あ る - 苦 し い >	8	5	-5	5	0	7	
金 融 機 関 の 貸 出 態 度							
< 緩 い - 厳 し い >	20	14	17	15	14	20	
借 入 金 利 水 準						(65)	
< 上 昇 - 低 下 >	45	38	29	65	56	65	61
販 売 価 格						(50)	
< 上 昇 - 下 落 >	39	41	43	36	48	40	43
仕 入 価 格						(78)	
< 上 昇 - 下 落 >	61	46	65	64	73	65	75

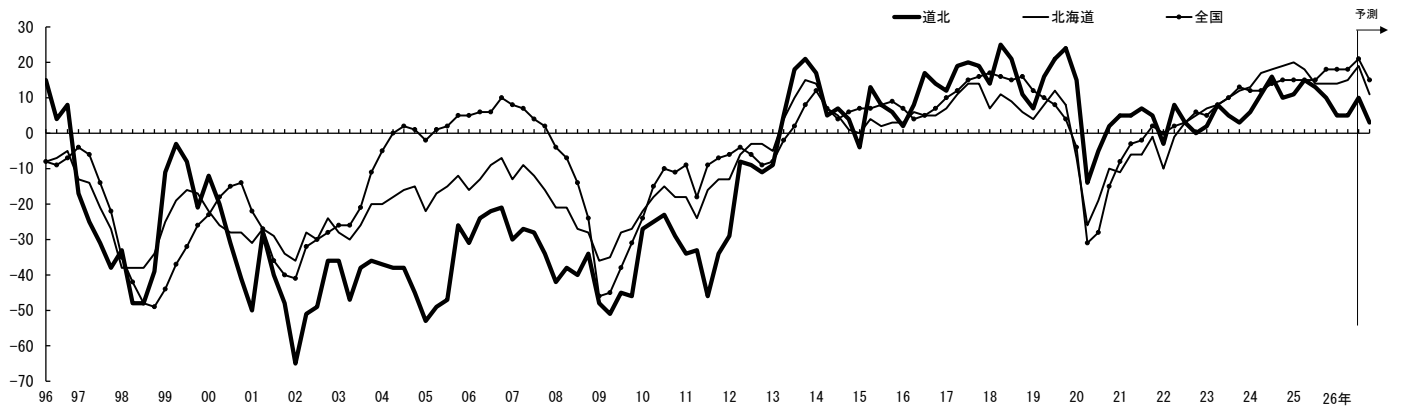
全産業、前年度比%、
< >内は前回調査比修正率%

（事業計画）

	2024年度実績	2025年度実績	2026年度計画			
				上期	下期	
売 上 高	-2.5	-5.3 < -1.7>	-0.2 < 1.5>	0.7 < 0.3>	-0.9 < 2.7>	
経 常 利 益	-11.7	-8.8 < 20.2>	-5.6 < 17.8>	-7.2 < 36.2>	-4.4 < 7.2>	
当 期 純 利 益	-24.9	-67.2 < -40.1>	3.0倍 < 12.4>	2.5倍 < 33.7>	3.6倍 < 0.8>	
設 備 投 資 額	-17.9	18.7 < 1.1>	-42.2 < -3.1>			

2026年9月短観・調査結果

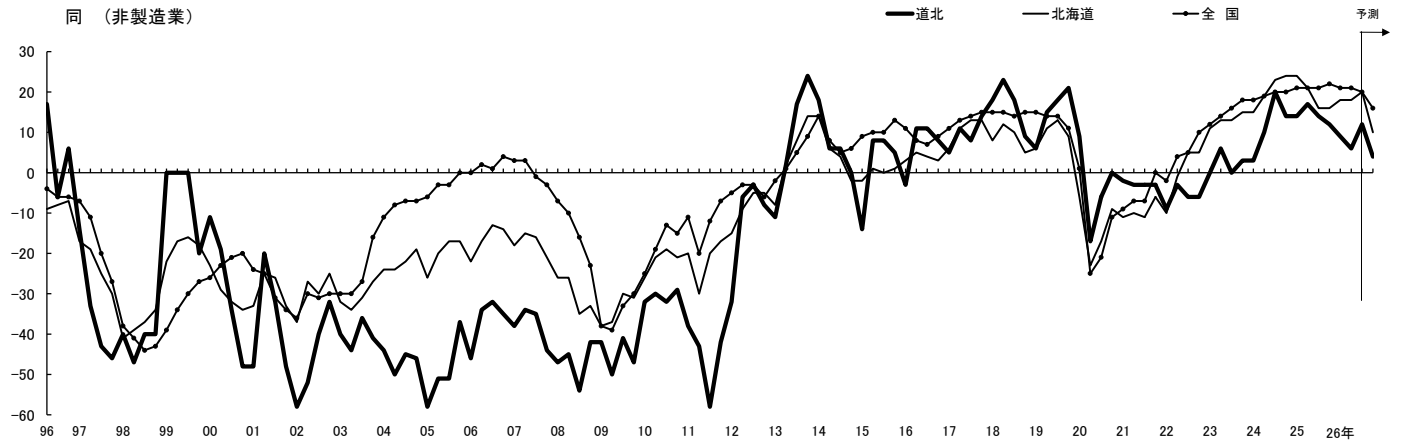
業況判断D. I. (「良い」－「悪い」、%ポイント)



同 (製造業)



同 (非製造業)



(注) 道北は、上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内。
2025年12月以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

道北地域の企業短期経済観測調査結果（2026 年 9 月）の概要

- 調査対象企業数：道北地域 40 社（製造業 8 社、非製造業 32 社）
- 回答率 100.0%（有効回答社数 40 社）
- 回答期間：2026 年 8 月 26 日～9 月 30 日

1. 業況判断 DI

- 9 月の業況判断 DI（全産業ベース、DI：%ポイント＜以下同じ＞）は、+10 となり、前回 6 月調査比改善（前回+5、前回比+5）。
 - 製造業の業況判断 DI は、0 と前回調査比不変（同 0、同 0）。
 - 非製造業の業況判断 DI は、+12 と前回調査比改善（同+6、同+6）。
- 先行きの業況判断 DI は、悪化を見込み、+3 との予測（9 月実績+10⇒12 月までの予測+3）。
 - 製造業は不変（同 0⇒0）を見込み、非製造業は悪化（同+12⇒+4）を見込む。

2. 各種判断 DI

- 「製商品・サービス需給判断 DI＜需要超過－供給超過＞」（前回調査－16⇒今回調査－8）は、供給超幅が縮小した。
- 「製商品在庫水準判断 DI＜過大－不足＞」（同－4⇒0）は、不足超から過不足なしとなった。
- 「生産・営業用設備判断 DI＜過剰－不足＞」（同－8⇒－11）は、不足超幅が拡大した。
- 「雇用人員判断 DI＜過剰－不足＞」（同－45⇒－43）は、不足超幅が縮小した。
- 金融環境についてみると、「資金繰り判断 DI＜楽である－苦しい＞」（同 0⇒+7）は、楽であると苦しいが同数の 0 から楽である超になったほか、「金融機関の貸出態度判断 DI＜緩い－厳しい＞」（同+14⇒+20）は、緩い超幅が拡大した。この間、「借入金利水準判断 DI＜上昇－低下＞」（同+56⇒+65）は、上昇超幅が拡大した。
- 価格面についてみると、「販売価格判断 DI＜上昇－下落＞」（同+48⇒+40）
「仕入価格判断 DI＜上昇－下落＞」（同+73⇒+65）はともに上昇超幅が縮小した。

3. 事業計画

- 2026 年度の計画は、売上高は前年度比－0.2%、経常利益は同一5.6%、当期純利益は同 3.0 倍、設備投資額は同一42.2%となっている。売上高、経常利益および当期純利益は前回調査から上方修正され、設備投資額は前回調査から下方修正された。

以 上